

MIST 学会 会員の皆様へ

この度、第20回関東 MIST 研究会を2025年2月22日に東京コンファレンスセンター・品川（東京都港区港南）にて開催をいたしました。保存治療から手術治療まで、MIST 研究会にふさわしい最新の最少侵襲脊椎治療に関する内容とさせていただきました。今回は一般演題の募集は行わず、全て講演会やシンポジウム形式とさせていただきましたが、最終的な参加者は約90名と、大変盛況に終わることができました。これもひとえに皆様方のご協力によるものと思います。この場を借りて心より感謝申し上げます。

会の最初は、福岡整形外科病院の富永冬樹先生に「コンドリアーゼ椎間板内注入療法の Q&A ー前向き研究200例で見えてきた数字たちー」というタイトルで、ヘルニア治療における工夫や疑問点に関して細かくご講演いただき大変勉強になりました。続いては、特別講演1として大阪ろうさい病院の海渡貴司先生に「MIST と骨再生医療の融合：骨粗鬆症患者への新たなアプローチ」というご講演を頂きました。先生の PLIF に対する手技のこだわりから、骨再生に関する基礎から臨床まで幅広く最新の知見をご講義いただきました。次に、東京脊椎脊髄センターの星野雅洋先生と久留米大学整形外科の横須賀公章先生に御登壇いただき、ISCT 治療に関する最新の知見や治療の実際について詳しくご講演を頂きました。この分野は現在もデバイスの開発が継続しており、まさに最少侵襲治療として期待されており、非常に多くの質疑応答がなされ大変盛り上がりました。続いては特別講演2を順天堂大学整形外科の野尻英俊先生に「次世代 ATP - LLIF の特徴と使い分け」というタイトルで御講演いただきました。現在は多くの LLIF 機種が用いられるようになりましたが、過去の基礎的・臨床的データからどのように使い分けを行うべきか？大変詳しくご説明頂き、若手の先生方にも非常に勉強になる内容でした。そして最後に、京都市民病院の竹本充先生と関西医科大学整形外科の石原昌幸先生をお招きして、OLIF51 治療に関するご講演を頂きました。実際の手術動画をふんだんに用いたご発表で、初心者から熟練者まで大変ためになる内容でした。いずれの講演でも多くの質疑応答や活発な討議がなされ、MIST に関して非常に熱く学ぶことができた素晴らしい研究会となりました。会の最後には、次回第21回関東 MIST 研究会会長である日本医科大学整形外科の小野孝一郎先生に閉会の辞を頂きました。

懇親会は同じ施設内でのレストランでの立食形式で行われましたが、こちらも多くの先生方にご参加いただき大変盛り上がった会となりました。ベストディスクッサー賞は、ご意見番として所々で研究会を引き締めていただきました東京脊椎脊髄センターの星野雅洋先生、探求心旺盛なご質問を多数いただいた聖マリアンナ医科大学整形外科の飯沼雅央先生に授与されました。懇親会終了後も近くの居酒屋にて2次会を開催し、遅くまで MIST に関して語り合い、親睦を深めることができました。

皆様のご協力もあり、大きなトラブルなく盛会のうちに第20回関東 MIST 研究会を終えることができました。本研究会を開催するにあたり、多くの先輩方や関東 MIST 研究会の世話人の方々、協賛いただいた多くの企業の方々、そして昭和大学整形外科のスタッフの方々に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

次回は第21回関東 MIST 研究会を日本医科大学整形外科の小野孝一郎会長のもとに2025年10月18日に横浜にて開催予定です。皆様ぜひともご参加いただきますようお願い申し上げます。



第 20 回関東 MIST 研究会

当番世話人（会長）工藤 理史

（昭和大学医学部整形外科学講座 主任教授）